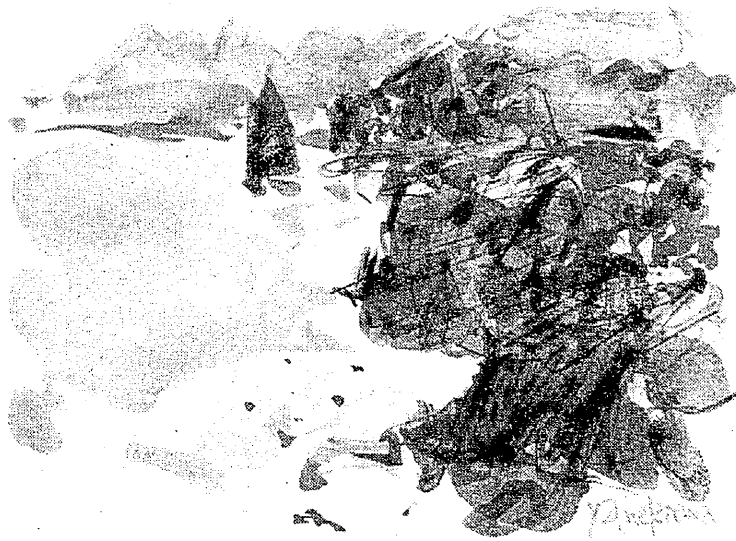


沖縄の旅から



辺戸岬

画

17分会 姉川良男

「へどみさき」は沖縄本島の最北端にあり、沖合に与論島が浮かぶ。復帰前、この地と与論の両岸での上を上げ、祖国復帰を訴えつづけた。近くて遠い島を見つめた沖縄の人々の思いが、梅の青さとともに胸をつつ。岬一帯は台地で、崖下では波がサンゴ礁に当たり飛沫となって砕け散る。



議のメンバーによる構成劇、また朝鮮人民学校生徒の出演で祖国の歌や踊りなどがあつて、大変な盛り上がりの中で進行しました。この会議は、中間年の一九八〇うか。

いま、婦人は

荒尾ブロック 古閑 美子

さる九月十六日、福岡市の都久志会館でナポリからの報告「二十世紀へ向けて世界の女性たち」と題して、参議院議員の久保田真苗さんを迎えて報告集会が開かれました。
あいにくの悪天候にもかかわらず、会場は多くの女性の熱気でいっぱいでした。
開会式について大牟田婦人会「国連婦人の十年」運動の総括

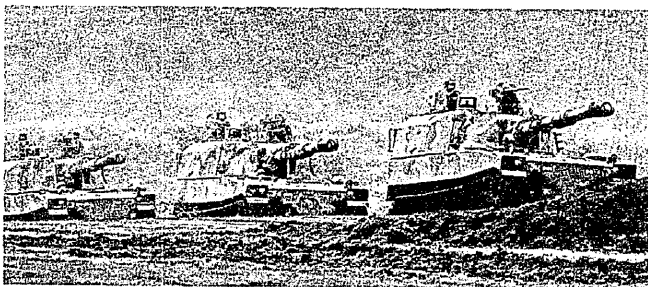
1%枠・設定から突破への道

スパイ防止法 青天井の大軍拡へ 成立狙いつつ

新しい防衛力整備計画が決まった。従来の単年度方式から再び五年ごとの年次防衛方式に変わった。今後五年間の防衛費は、総額十八兆四千億円。GNP比1%枠は突破され、毎年度平均七・九%の伸びが必要という。枠は外され、防

衛費の増大はとどまるどころを知らない、という新しい段階を迎えた。政府が倍々ゲームで増大する年次防衛方式を単年度方式に改めたのは七十六年。同年、「平和時の防衛力」として「防衛計画の大綱」を決め、一週間に防衛費の1%枠を閣議決定した。

しかし、その後は表の裏に、米国の共同防衛計画のもと、対ソ連戦に備えた軍拡への道であった。八一年には、シーレーン防衛の名で、「大綱」にはなかった米第七艦隊の洋上防空に踏み出し、他方で国内の有事法制研究にのり



軍拡1%枠突破への道のり

76年	政府、「防衛計画の大綱」決定
77年	政府、防衛費の1%枠決定
78年	F15、P3C導入決定
79年	日米防衛協力指針決定
80年	防衛庁、有事立法研究開始
81年	E2C導入決定
82年	環太平洋合同演習初参加
83年	統幕議長、GNP1%で政府批判
84年	有事立法研究中間報告
85年	首相、シーレーン防衛表明
86年	極東有事研究開始
87年	中曽根内閣成立「戦後政治総決算」を主張
88年	米上院本会議、90年までにGNP1.4~2%にと日本への要求決議
89年	「1%枠突破やむなし」と首相
90年	首相、「列島不沈空母化」、海峡封鎖発言
91年	米国への武器技術供与締結
92年	日米共同防衛計画案を首相了承
93年	米、核トマホークの太平洋配備を開始
94年	自民安保調査会GNP1%見直し作業開始
95年	核攻撃可能F16の三沢配備開始
96年	「スパイ防止法案」国会提出
97年	首相、靖国公式参拝
98年	新防衛5カ年計画決定、1%突破へ



求を決議。首相は「1%突破やむなし」と地ならしを始め、対ソ戦に備えた列島不沈空母化、海峡封鎖を公約。対米武器技術供与で武器禁輸三原則もとり払った。今年からは核攻撃可能F16の三沢(青森)配備を受け入れた。そして「スパイ防止法案」を国会に提出、言論統制を準備しながら、天井の時は移さず1%枠突破の対日要

10月のこよみ

○神無月(かみなづき)。一日法の日、労働衛生週間。芸術祭が文化庁主催で一日から十一月十五日までの一月半催されます。「すべれた作品を公開」し、国民文化の向上をはかることを目的にしていますが、英、北日本では後半晴れる日が多いようです。「女心と秋の空」といわれるように天候の変わり方がはげしく、夜冷えこむことが多いので気温の変化に十分注意したい月です。
○新米にまだ草の臭いの匂ひ。秋の稲刈りが九月末から表(こし)まい、早稲の飯と俳句で詠まれます。おでんに煙酒が五臓六腑に沁みわたります。

10月の園芸

13分会 田上 勇



いろいろとりの花が秋風にゆれて美しいコスモス

さつきの整枝と剪定

花芽をつけたさつきは、徒長枝や根元から出るひこばえ、胸吹芽など樹形も見苦しく、秋の樹形の観賞や花芽の充実、採光など思わしくありません。樹形にそって剪定します。ひこばえや胸吹芽、徒長枝、立上り芽、下向き芽、からみ枝、幹切り枝、ふところ枝など多くの不用枝を切り、すっきりさせます。春に挿した苗は植えて新

ボタンの植え付け

ボタンやジャコウなどの株はこれから市販されますが、早目に入手して植え込みます。植え付け場所は一に排水、二に日当たりが適当で、鉢植えなら三十センチメートル以上の深鉢を用い、植え付けは根を痛めないようにして大きい根は先を少し切り戻し、接ぎ目が三、四センチメートル埋まるぐらいに植え付け、用土は赤玉土に腐葉土やピートモスなどの有機質を多く混ぜ合わせて植え込みます。水を十分に与え、鉢植えの場合は乾き切ったら与える程度、または、春まで鉢を土に埋め込みます。植え込みの時に支柱を立てておくと、後で立てるより根を痛めません。

松柏盆栽

前月に与えた肥料が古くなったものは取り除き、別の個所に新しく入れ替えてやりま。玉肥は大体一カ月ぐらいの効力です。
黒松、五葉松、錦松などは古葉取りをすすります。
間引き剪定は十一月末頃に実施しますが、見苦しく延びた枝などは切り落とします。小枝が茂り、通風が悪く枯れ葉などが密生しているところは虫が食いついていることがあります。消毒も実施します。

観葉植物などの冬越し準備

夏の間に暑くした観葉植物も冬には弱く、温室のない方も室内に取り込むだけでも結構持ちこたえます。ハイビスカスやアジアンペリア、ランタナなど、延び過ぎたものは少し短く切り込みます。水は半分控えめに与えます。イワヒバなどは冬の休眠期に入ります。しだいに水を少なくし、十一月末ごろ水を切り冬を越させます。